

教師が楽しむ学級づくりを学ぶ

～岐阜県での実践を通して～



岐生研/春の学習会

2021年5月29日(土)

※ ZOOM を使った開催となりました。

ZOOMのミーティング番号はかがり火MLにてご連絡いたします。

ML未登録の方は、岐生研会員、または土井烈志(090-8739-8905)までご連絡ください。

「どうして思うようにいかないんだろう。」「これって当たり前なの?」「頑張ってるのに、こんなに苦しいのはなんで・・・?」そんな思いを抱えたことはありませんか?

先行きの見えない現場の中で、分からないことだらけの資料に目を通し、生徒指導や保護者対応に頭を悩ませ、教材研究は二の次に、帰るころの外は真っ暗。「こんなはずじゃないのに・・・。」

もしかすると、その苦しさをこらえ切れず、涙に暮れる日々を送っている先生もみえるかもしれません。そんな悩みや苦しみを話し合って解決しませんか?

前半の講座では、岐阜県の学校の中で当たり前とされていることのルーツについて知り、現場の困り感を共有します。後半の実践交流では、息苦しさのある現場の中でも、生き生きと子どもたちが活動する学級を作りあげた先生の実践を交流していきます。

「こんな学級をつくりたい!」「次はこんな授業をしてみよう!」そんな風に、教師が楽しみながら実践を行う学級は、きっと子どもたちも生き生きするはず。一緒に目指してみませんか。

お待ちしております。ぜひお越しください。会に参加するだけでも明日への希望が持てますよ。

プログラム

- 12:30～ 受付
- 13:00～13:10 開会式
- 13:10～14:20 足立先生による講座
『学校教育と「伝統」行事』
～教師として思考停止に追い込まれないための手がかりとして～
- 14:20～14:40 交流(職場での困り感など)
- 14:40～14:50 全体交流
- 14:50～15:00 休憩
- 15:00～16:00 森田実践の発表
- 16:00～16:50 交流
- 16:50～17:00 閉会式

講師 足立 淳 先生

朝日大学、教育課程センター准教授(専門:教育学・教育史)。20世紀初頭に隆盛した大正教育と呼ばれる全国的な教育改革の諸活動の史的再検討を通じて、現代における教育改革にとって有益な知見を引き出すことを目指している。また、近年は、上記の知見を踏まえつつ、望ましい教員養成教育や現職教員研修のあり方についても大学における教育実践や現職教員との共同研究などを通じて考察を進めている。『西洋世界と日本の近代化—教育文化交流史研究—』(共著)

参加費 ☆ 無料

主催 岐阜県生活指導研究協議会

連絡先 土井烈志 090-8739-8905

